

広報



ぐじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場広報課編集
電話 (01885) ② 代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所
電話 (01885) ② 2430番
一部 5 円 郵便番号 018-17
毎月 1 日・15 日発行

富津内保育所で

行く秋を惜しむ落葉焼き



落葉焼きの風化

馬場目から入通線を利用して、富津内保育所に着いたら、保母さんと子どもたちが「落葉」をかき集めて焼いていた。

子どもたちは、葉を集める、バケツに水をくむ、葉をかきあげながら燃やすなど、行く秋を惜しむかのようにそれぞれの役目に一生懸命であった。

以前「落ち葉焼き」の光景は、秋が深まるどこでも見られる風物詩であったが、近ごろめっきり目につかなくなった。「落葉焼き」は、そこはかとなく冬支度のため掃き納めをするような風情(ふぜい)をもっていた。

焼き葉っぱの中に「さつまいも」を入れて焼きいもをはおぼる姿は、晩秋の絵であり、子ども心のファンタジーでもあった。そして老人と子どもたちの語り合う場としても、ごく自然な形で生活の中に息づいていた。年々このような光景が風化され消えていくことに、一抹の淋しさを覚えるのは感傷だろうか。

生活と文化に四季の景趣

いったい、日本ぐらい四季折折に微妙な変化を持つ国は、世界にその例をあまり見ないと言われる。その変化に彩られる美しい自然を私たちは生活の中でどのように受けとめてきたのだろうか。古老たちはそれをよく知っている。

上山内の畠山鶴松(85)さんの記録を見ると、自然と生活と文化のかかわり合いがよくわかる。単純な農村の風物・風俗の記録だがすべてこまやかな四季の景趣をおびている。

- ・落葉の早いときは雪も早い。
- ・雨カキ日クリ雨の多い年はカキが豊作で日照りの多い年はクリがよい。
- ・牛の鼻にわらが着くときは雨が近い。

など、およそ科学的な根拠はないが、長い歴史の中で生活の知恵として生かされている例が多い。

モミジの葉が芽ぶくとき紅で始まり、散るときもまた紅くなる。落葉現象はなぜ起るのか。常緑樹と言われる木々に落葉はないか。自然の学舎(まなびや)には秀れた教材が多い。落葉をかこむさりげない動作に、自然の営みを学びつつしむ心の芽を育て大切にしていきたいものだ。

秋の生存者叙勲

本町から金子・椎名の両氏

秋の生存者叙勲の氏名が十一月三日付で発表された。

秋田県の関係者は、県外在住も含めて五十八人、五城目町関係では消防の金子耕蔵氏と、地方自治の椎名佐吉氏がそれぞれ受章、地道な活動を黙々と続けてきた功績が認められた。

勲七章

●青色桐葉章

金子 耕蔵(63)氏

・消防功労

・昭和十三年大川村消防団消防手



・昭和三十四年・四十二年
大川地区隊副分団長
・昭和四十二年四月・同年七月
五城目町消防団副分団長
・昭和四十二年・四十八年
五城目町消防団分団長
五城目町大川西野字八幡前五八

●瑞宝章

地方自治功労

椎名 佐吉(74)氏

・昭和三年三月から四十年三月
県作業手として道路修理一筋。
五城目町字七倉一〇五ノ八。

このたびの受章にあたって金子さんは次のように語ってくれた。「このたび名誉ある叙勲にあずかり、感謝感激しております。今後ますます健康に留意し、わが郷土五城目町の発展と躍進日本の建設に、およばずながら微力をつくして参りたいと思っていますので、何卒このあとも、町内のみなさんから、ごべんたつくださいませうお願い申し上げます」



椎名さんは、この道三十七年ひたすら道路の補修、整備に努めてきた方で、このたびの受章にことさら喜びを深くしていた。

「町内の県道の補修を三十七年間も手がけてきたが、砂利道は補修してもすぐ穴ぼこになり、手をあげたが、県道から国道二八五号線に昇格、トンネルも掘られるなど、今思うと隔世の感がある。」と感慨深げに語っていた。

高価な図書二百冊寄贈

十月十五日創価学会から秋田県長進藤泰伸氏と広報委員川合厚彦



氏が、杉沢小学校を訪れて、二百冊の図書を寄贈した。これは、創価学会創立五十周年記念事業の一環として行われたもので、全国で百校、県内で五校となっている。

当日、全校(小・中)生徒が体育館に集合その贈呈式が行われた。准藤県長は「子どもは未来から



大きなコイがいっぱい

～下山内老人クラブ～

下山内老人クラブでは、10月23日、同地区にある堤の水を落し、養殖していたコイの水あげを行った。これは3年前に放流したもので、50センチ以上の大ものが120匹もいて、お年寄りたちは大よろこびであった。

このコイは地域の家庭に安く買いとってもらい、収益金はクラブの活動費にするそうである。

水の落し口で手づかみしたコイを上げるお年寄りたち

改善された国民年金の月額

給 付 の 種 類				現行額	改正後
拠 出 年 金	老 齢 年 金	5 10 25 40	年 年 年 加 加 入	20,108円 24,741 39,225 62,766	22,600円 26,550 42,000 67,200
		1 2	級 級	49,791 39,833	52,250 41,800
		子らが1人のとき		39,833 0	41,800 15,000
		1 人のとき		39,833	41,800
		明治44年4月1日以前		20,000	22,500
福 祉 年 金	老 齢 福 祉 年 金	1 2	級 級	30,000 20,000	33,800 22,500
		子らが1人のとき		26,000	29,300
		母 子 年 金			
		母 子 年 金			

備考 1.改正後の5年年金は、7月から21,600円に、8月
から22,600円になります。
2.母子加算の創設は、8月からです。



—引きあげられた年金額—

国民年金はこう変わる

国民年金法が改正されました。
今回の改正は、昭和51年度の改正
で整備された基盤に立って、その
後の国民生活の動向などを勘案し
年金額の見直しを行なったもので
す。したがって、給付水準の引き

上げは、例年のように物価スライ
ドによって改定されたものとは異
なり、年金財政の再計算に応じて
行われたものです。

また、母子世帯への処遇改善を
して、母子年金への母子加算の上
積みや、加算額の引き上げなどが
行なわれています。
改正された主な内容は次のとお
りです。

一、拠出制国民年金の改正
①年金額の引き上げ(五十五年七
月から)

表のとおり。

②保険料の改定
五十六年四月から
月額四千五百円。

③母子・準母子年金加算の創設
(五十五年八月から)

二、福祉年金の改正
年金額の引き上げ(五十五年八
月から)表のとおり。

保 険 料 は

納め忘れのないように

今年の国民年金の保険料は、納
められておりますか。納め忘れが
ないか、もう一度お確かめくださ
い。

保険料を納め忘れずと、万
一事故があったときの「障害年金」
や「母子年金」、将来の「老齢年
金」さえ受けることができなくな
ります。事故がおきたときに、あ
らわて保険料を納めても間に合
いません。

こんな例があります。

Aさんは、ある日の深夜、国道
でトラックにはねられ、片足を失
いました。さっそく、国民年金の
「障害年金」支給を申請しました
が却下されました。それは、一
年前に加入したAさんが、保険料を
二カ月滞納していたため、事故の
あった日の前月に一番近い基準月
(一月・四月・七月・十月)の前
月までの、保険料を完納していな
かったためです。こうしたことの
ないよう保険料は忘れずに納め
ましょう。

家計簿の体験を

文章にしてみませんか

秋田県貯蓄推進委員会では「わ
が家の家計簿」体験談を募集して
います。家計簿記帳に関するこ
とであれば特に規制はありません。
記帳年数の短い方、初心者の方
でも気軽に応募してください。使
っている家計簿の形式は問いませ
ん。

▼作品例

・家計簿をつけはじめた動機と記

帳上の苦心や工夫

・家計簿を継続してつける工夫や
家族の方々の協力の模様

・家計簿によって予算生活をした
結果、生活の仕方に生じた変化
・家計簿をもとにした生活設計
・グループによる家計簿記帳の勉
強ぶり

▼原 稿

・本文は四百字詰原稿用紙五枚以
内。本文のほか、月別、項目別支
出一覧表を添付してください。作
品は未発表のものに限ります。

原稿には、応募者の氏名(ふり
がなをつける)住所、職業、年齢
家族一覽(応募者との続柄、年齢
職業、就学状況)家計簿記帳年数
および連絡電話番号を必ず記載し
てください。

封筒の表面に「家計簿体験談」
と明記してください。

▼募集期間

昭和55年12月1日～

昭和56年2月28日

▼作品の送り先・問い合わせ

秋田県貯蓄推進委員会

〒011

秋田市大町2-3-35

日本銀行秋田支店内

「私の提言」を募集

生涯教育推進10周年記念

県では、生涯教育推進十年を記
念して、県内在住の小・中・高校
生および一般成人から、新しい視
点に立った「生涯教育・学習につ
いての私の提言」を募集していま
す。応募要領は次のとおりです。

国際障害者年

記念ポスター募集

県では、国際障害者年の目的や
意義について県民の理解を深める
ため、一般県民および県内の大学・
高校・中学校の生徒を対象に、国
際障害者年をテーマにしたポスタ
ーを募集しています。

▽応募方法

①応募作品は未発表の自作のもの
に限ります。

②作品の紙質および規格は次のと
おりです。

紙 質 画用紙
規 格 四ツ切り

③作品にはシンボルマークを必ず
入れること。

④作品の裏面には住所、氏名(ふ
りがな)、性別、年齢(学年)
学校(施設)名または職業を明
記してください。

(シンボルマーク)



⑤中・高校の生徒の作品は、原則
として各学校で取りまとめ送
付してください。

▽募集締切 12月5日

(当日消印有効)

▽作品送付先

秋田県民生部福祉課内

「国際障害者年記念ポスター」
募集係

010 秋田県山王四丁目1-1
☎0188(60)1235

▽内 容

・小・中・高校生

「私が学びたいこと」

・一般成人の場合は、次のテーマ
を参考にして生涯教育の推進に
関する提言を書くこと

「私の生涯教育論」

「生きがいと生涯教育」

「生涯教育をこのように進めた
い」

「こんな学習をすすめてみたい」

「私が求める学習の条件づくり」

▽原 稿

「私が求める指導者像」

・四百字詰原稿用紙五枚以内

・原稿の末尾に氏名、生年月日、
現住所、勤務先、職業、または
学校名、学年を明記する。

▽送り先

秋田県生涯教育推進本部事務局

「私の提言」募集係

010 秋田市山王中島町1-1

秋田県生涯教育センター
☎0188(65)1171

随想

加賀谷町長さんと「タブノキ」

秋田県緑化推進委員会

推進員 佐藤 勇 三

加賀谷町長さんと言えば、緑化事業、広く林業界に於てその開発と躍進に全果的に尽力されて居る方である。

今から丁度十年前、この町長さんから、県農政部長を通して声がかかった。五城目町内の公共施設の緑化造園計画の相談であった。いろいろ対談して居る中に加賀谷町長さんは、初対面の私をして、窮屈を思わせない様に五城目弁で言った。



「秋田に居て暖国の景観」私はかつて、西目農高に在動中、すぐ近くの金浦町、勢至公園、タブノキの森を見に行つて緑深く、広葉、葉身大きく大変にゆたかさを感じた。

「あなた方、雪の降る秋田であっても、冬分広葉の落ちない庭木を研究してくればエイナヤシカ」私がかねてひそかに考へて居ただけに、この創意に大変感動した。エゾユズリハ、アオキ、マサキ、イヌツゲなどあるものの低木である。町長さんの構想も、「雪の秋田に居て、広葉常緑樹（高木）暖国の景観を楽のしもう」の意図であった。



タブノキ 生 SEP, 14

たのしんだ。

シラガシの大木も、県内には鳥海山麓、河辺町に現存して居るものの、タブノキを研究しようとした。先ず実生をやつて、耐寒性を高めて行く、タブノ木の種子を沖縄県の農林高校から世話してもらいました。九州、関西、金浦、矢島からも送ってもらった。

十年間も観察して居るに、

①非常に根が荒根で少しでも苗の移植に当って損傷すれば極端に生育がわるい。それぞれ箱蒔きまた鉢蒔きにした。

②苗の葉の色によつて耐寒性が区別されたが、暖冬の年もあるので、もう少し年月をかけて調べることにした。

③金浦、矢島産のタブノキ実生は耐寒性が強い。

④物理的、生態化学的に実験を続ける。

⑤年月を経るに従つて耐寒性を増すようである。

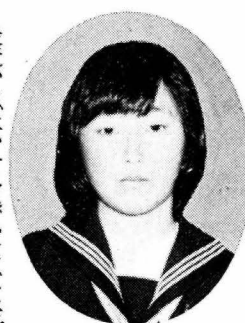
私の十年の観察の結果以上の事を知った。今年の春、加賀谷町長さんには、宿題の答として少しく苗を届けた。五城目環境に一本でも良いから、順応し、秋田に居て暖国の景観を呈する様、その生長を祈つて居る次第である。

二十五周年記念秀作作文

夢をもつて

町づくりを

五城目第一中 二年 広嶋 由紀子



最近、私は、町を歩いていて五城目町は、大きく変化し、発展してきているわが町の姿にはっと驚くことがある。今その二、三を上げてみよう。

まず一つは、朝市。五城目町の朝市はテレビに報道されたことも幾度かある。今は、朝市には、食べ物だけでなく、いろいろな電気製品さえ売っているところを時々目にする。

しかし、変わっていないのは、「これ、なんぼですか」と訪ねると「△円です」と、少しなまりながら答えてくれる。そしてそのなまりが、すごくあたかく感じる。

また、この朝市が、再会やいろんな人達にあえる唯一の場所なのである。

二つめは、道路である。私の住んでいる村「坊村」の橋は、坊村橋という木の橋だったし、道路もじやり道だった。本当の田舎だなあ。と感じるのに十分の素質を持っていた村だった。しかし、木の橋も、鉄筋のじょうぶな橋に変えられ、じやり道も舗装され、倍に広くなった。

建ってきた。スーパーマーケット、広域体育館、町民センターと、数えきれない。しかし、最も私の目につくのが、広ヶ野の住宅地である。前まであそこは、森が道路の両端をぎっしりつめていた。夜、暗くなってからは、通れない有様だった。しかし、あの住宅が建つてから明るくなり、行きも楽になったのだ。

が、確実に、発展してきていると思う。こんなわが五城目町を見ながら、私は、未来の五城目町について夢を見てしまう。ケヤキ通り、プラタナス通り、イチヨウ通り……町々の道には、街路樹が茂り、町の所々に運動公園が点在し公園内の散策道をジョギングの人が走り……

町の中に自然があるのではなく自然の中に町が息づいている。こんな夢である。

四季を楽しめる町

五城目小学校 五年 三組 石井 俊昭



春。すずめ館公園は、満開のさくらの花でかざられ、明るい太陽の下で、お花見を楽しむ町の人々にぎわう。「花よりだんご」の

いキャンプを経験させてくれた。秋。野鳥の森は、キノコとりやなべっこ遠足を楽しむ家族づれでにぎわう。こは、自然をこわさないで、野鳥と人間がなかよく暮せるようになっている所で、全国でもめづらしい場所だと思ふ。

冬。恋地スキー場は、色とりどりのスキーウェアを着た人たちにぎわう。ばくも、去年からスキーをはじめたので、冬が来るのが待ちどおしくてならない。

このように、わが五城目町には四季それぞれに楽しめる、自然の豊かな場所がめぐまれている。先に書いたほかに、馬場川上流や、スズミシの北限地である森山そして町の周りの山になど、わたしたちに、自然のめぐみをあたえてくれるところが多い。

このように書いてくると、五城目町は、山の中にあまり開けていない（五ページに続く）

③

美田に仕上げた事情は考慮されない

答：小作地が、借りた当初に比較して優良農地となつており、しかもその費用は借人自ら負担し、貸主は一切費用を負担しないにもかかわらず、小作料は優良農地となつた現在の農地条件に基づき定めるといふことは不公平であるといふ趣旨のようだ。

しからば、公平な小作料をどうして定めるかという、現在は姿を変えてしまった借りた当初の農地条件などを現在の時点でどのように確認するの、ということ、そのうえ現在の農地が借りた当初の農地と比較して、どのくらい価値が増加しているのか、これらのことを貸主と借人の間で確認することが前提となる。

この場合、単に収量が米七俵から十俵に上っているといっても借りた人の土地改良の費用負担のみでそうだったとは認められない。稲作技術の全般的な向上もあり、さらに、未整理水田が十アール区画水田になったといっても、その地域の農地状況からみてどのくら

說得できる基準困難

このようにみえてくると、その小作地の歴史的な経緯や、借りた当初の契約の条件、周辺農地との評價の問題など、各々の小作地によってすべて事情が異なるので、借りた人の投下した有益費を小作料で調整するための基準、すなわち

王、僧人の双方を説得できるよ
は客観的基準を作ることは困難
あるということになる。

したがって、この有益費の問題がある場合は、先に述べた基本的な考え方を貸主、借人の合意を図る方法が一つ、もう一つの方法は有益費の問題を小作契約を解消すると、あるいは、その小作地を小作人が取得しようとする際、一度で清算することにして、今回の小作料の關係とは別に取扱うよう貸主と借人の了承を求めることである。

で行われた献血に、たくさんの方の高校生が協力してくれました。献血者のお名前は次のとおりです。

(敬称略・数字は献血回数)



献血ありがとうございます

沢田石さんに銀色有功章

このほど永年にわたって献血運動に協力した沢田石栄さん（湯ノ又）に、日本赤十字社から銀色有功章が贈られました。

これは、献血回数三十回以上の
人に対して贈られるもので、当町
からの受彰者は沢田石さんで九人
になりました。

十一月四日、五城目高等学校前

貸主、借人の双方を説得できるような客観的基準を作るとは困難であるということになる。

双方の合意のもとで

したがって、この有益費の問題がある場合は、先に述べた基本的な考え方を貸主、借人の合意を図る方法が一つ、もう一つの方法は有益費の問題を小作契約を解消するとき、あるいは、その小作地を小作人が取得しようとする際、一度で清算することにして、今回の小作料の關係とは別に取扱うよう貸主と借人の了承を求めることである。

で行われた献血に、たくさんの高校生のみなさんが協力してくれました・献血者のお名前は次のとおりです。

(敬称略・数字は献血回数)

鎌田 生 2	浅野 陽子 2
遠藤 由紀 1	近藤 聖子
千田 成子 2	千田 春美
佐藤 千秋	鷲谷 春美
渡辺由美子 5	渡辺 夏子
田中由美子 3	鏗 純子
佐々木すえみ 2	島崎枝利子 1
一関 恵美 1	佐藤 悦子
伊藤 一志 20	小玉 英己 4
菅原 文子 2	佐藤 真理 1
渡辺 節子 1	佐藤みどり 3
畑沢 方子 2	泉 正生 1
菅生 博美 1	松田 尚彦 3
内藤 信好	児玉 順一 1
沢田石義昭	館岡 正和 2
渡辺 正 2	石井 浩智 1
千田 学 1	石塚 聡
千葉 吉晴 2	伊藤 清光 2

渡辺 春美 1	伊藤 京子
細谷香奈子 2	松橋 真紀 3
坂谷 和美 1	佐藤 聡
小林久美子	佐藤 優子 2
川村 尚子 2	小野 恒子
畑沢みお子	田崎 成美 1
見上 光二 1	工藤 秀彦
三浦 明美 2	伊藤加代子
村井 恵子	松田 一恵 2
小杉田正法 1	畠山 嘉博
小林 誠	伊藤 豊
笹村 淳子 6	畠山 育子
伊藤 香 2	中村 成美 1
武田りり子 1	鳥井 親子
沢畑真由美 2	菅原 公子 2
川村 朋子 1	瀬戸 順一 1
小野 秀樹	小林 勝幸
猿田 充	森 志保子
工藤 滝子	松橋 寿
佐藤 和美 3	浅野 研 2
伊藤美保子 2	斉藤 昌美 1
佐藤 真美 1	小野 千秋 3
伊藤 良子 2	青山 恵子 2
山田 若子 1	石川 孝子 1
畠 郁子 2	宮腰 晃
児玉真紀子	伊藤 嘉子
藤島ひとみ 1	伊藤 広美 2
椎名 均	阿部 鈴子 1
大石 祥子 2	小熊 睦子
菅原 聖子 3	小幡 幸子
千田とも子 2	畑沢 竜子
鈴木りつ子	加藤 司子
佐々木明美	川上 覚 2
新田 良子	沢田石純子 2
三浦 若美 1	石川 広光 1
田仲 力 3	佐藤ひとみ
遠間 一美 1	栗山 忍
筒井 仲夫	安田ゆかり
石井 春美	佐藤 薫
石井 繁春 2	田中 隆博

ない町のようになされるかもしれないが、そうではないのである。スポーツ施設だって、ほかの町にじまんであるものが多いのである。とくに、夏だけでなく、ふだきのふきあれるまきでも、水泳を楽しむ、からだをきたえることができる温水プールは、なんとすばらしい施設だろうと思う。このほか、堂々とした体育館、テニスコート、すもう場、グラウンドなどが運動公園として、きちんと整備されていることは、きつと、ほかの町からうらやましがられていることだろうと思う。	町では、これらのいろいろな施設を、うんと利用してもらうよう
神尾 圭吾 1	藤田 一 1
田中 正志	土橋 雅樹
工藤奈美子	菅原 令子
広瀬 隆己	伊藤日登美
柴田ひとみ	山田 照美
小玉 マイ	伊藤 成美
越後屋謙二	藤原 高行
工藤 一男	武埜 喜一
小玉 良秋	伊藤 敏彦
石川 正博	田中みき子
畠山 一	加賀谷佳信 2
佐藤 和子	坂下真知子 1
菅生 尚子	石坂えり子
金沢 博之	伊藤 久 5
大山 洋治	小玉 久浩 1
河田 義悦	小林 誠喜
飯塚 博喜	横谷 勉
菅原 誠	小玉 政芳
工藤 順一 2	小玉 恵子 2
渡辺佐世子 1	土橋 順子 1
小玉 祥子	佐藤 恵
高橋 栄	推名 栄子

(四ページから)

ない町のように思われるかもしれないが、そうではないのである。スポーツし設だつて、ほかの町にじまんでできるものが多いのである。とくに、夏だけでなく、ふぶきのふきあれるま冬でも、水泳を楽しむ、からだをきたえることができる温水プールは、なんとすばらしいし設だつたと思う。このほか、堂々とした体育館、テニスコート、すもう場、グラウンドなどが運動公園として、きちんと整備されていることは、きっと、ほかの町からうらやましがられていることだろうと思う。

町では、これらのいろいろなし設を、うんと利用してもらうよう

に、いろいろな大会を開いてる。ぼくも、野球大会などに出場してがんばった。おとしよりもゲートボールで健康づくりをしている。ぼくは、このような五城目町がすきで、すみよい町だと思う。それなのに人口は毎年毎年少しずつへっているというのである。それは、働き場所が少ないためだと思う。だから、五城目の伝統的な工業であるかじ屋、おけ屋、家具製造業や製材業などを、たいせつに守っていくとともに、若い人たちが働く場所もつくることを考えなければならぬと思う。

四季を楽しむ五城目町が、もともととすばらしい町になるようにいいたいと思う。



わたしの教員生活 ⑨

中村 清次郎



五城目小学校時代の思い出に、体力づくりの一つがある。当時は交通機関の便が悪く、今のようにバスやタクシーがなかったこともあろうが、よく長途の歩きをしたものである。

春秋の遠足は、ほとんど歩くことで、遠足の方も大体決っていた。岡本の運動場、高岡山、三倉鼻、広徳寺、町山、飛塚運動場(井川町坂本)飯田川公園、保呂瀬、多羅等がコースで、尋常一年生から、高等二年まで同じ日に行われた。

全校で実施する遠足のほかに、私は全校遠足のほかに希望者を集めて、日曜日や祝祭日の休みに、



遠足の帰り
(現三の野鳥の森入口付近)

学級山登りや、学級遠足をした記憶がある。

昭和十七年四年生の女組担任の時、六月に希望者三十数名をつれて戸浜へ遠足した。今考えるに無謀であったと反省しているが、子どもたちはよく歩いたものだと思う。帰路は飯田川町あたりで疲れた目に見えて来た。

「もう少しだ、もう少しだ」と励ましなが、飯塚の山の端から森山が見えた時は、わっと元気づいた。新聞山を過ぎたころはさらに

られない光景である。このけい古には町民の中でも参加する人が多かった。

昭和十六年には新しい体操の中に柔道の型と剣道の型が取り入れられ、剣道には木剣が使われていた。

五城目小学校は、大正十年頃、体操のすぐれた学校で全県の有名校であったと聞いている

健康づくり教育

当時は今の役場の大事務所の建物が体操場で

室の南側にはろく木北側に平行棒が置かれ後の物置には飛箱バック平均台等体操器具が揃っていた。五城目町民の健康はこうして

さらに当時は夏休みに、湖畔学校が開かれた。八月一日から十日間毎日朝八時、学校を出発面湯村を三倉鼻公園下の八郎湖岸へ行くのである。毎年私が担当した。暑い日光に照らされて三里(12K)の往復は容易でなかった。ただ高岡小学校前の井戸水を飲むことと、水泳ぎをすることが湖畔学校の忘れられない印象である。

当時の課外体育では柔道、剣道で女子の薙刀は、体操の時間に繰り入れて実施されていた、いづれも盛んなものであった。

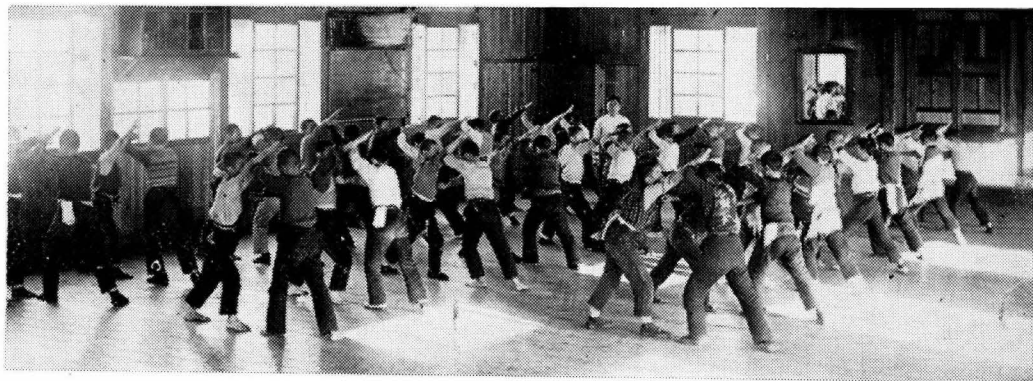
特に柔剣道は土用けい古、寒けい古があって、寒けい古などは寒中の凍る中でけい古に着替えて練習するさまは、今日では一見

赤い羽根共同募金 集まった善意百八十万円

赤い羽根共同募金

十月一日から全国一斉に始まった赤い羽根共同募金の当町分は、十一月五日に完了し、目標額を上まわる好成績をあげた。

今年度の募金実績額は、百八十七万二千八百七十七円、目標額の百八十五万二千六百円を二万二千



十七円上まわった。募金の内訳は次のとおり。

- ▽戸別募金一、八七二、八一七円
- ▽街頭募金 三八、七六七円
- ▽ボイスカウト二五、八六九円
- ▽老人ボランティア二、八八八円
- ▽法人以外の団体一八、一八九円
- ▽個人大口募金 六〇、三八〇円
- ▽職域募金 三六、一三六円
- ▽その他 五、六〇五

町営住宅十一戸

入居者を募集

十二月十三日申込期限

町では、木造一戸建住宅を五十一年度から年次計画でその建築を進めてきているところであるが、五十五年度分十一戸を加えると五十三戸になる。

今年度分については、次の内容により入居者を募集しているので希望者は十二月十三日までに、建設課住宅係までお申し込みください。

公営住宅の入居希望者募集について

募集について

左記により公営住宅の入居者を募集します。

- 一、所在地 五城目町高崎字行内沢地内
- 一、種別規模 第二種木造平家建
- 一、家賃 月額 二二、〇〇〇円

- 一、募集戸数 一一戸
- 一、受付期間 自昭和五十五年十一月二十四日至昭和五十五年十二月 十三日
- 一、選考方法 五城目町町営住宅管理条例による
- 一、入居期日 昭和五十六年一月十日予定
- 一、入居者の資格 ①敷金(家賃の三カ月分相当額)および毎月の家賃の支払い能力のあるもの ②入居者の収入月額は公営住宅の収入基準表による ③現に住宅に困窮していることが明らかなる者

職業訓練生募集

秋田天王総合高等職業訓練校では、昭和五十六年度訓練生を募集しています。

▽応募資格

昭和五十六年三月新規中学校および高等学校卒業見込みの者。または義務教育修了以上の学力を有し、健康で職業訓練受講意志の強い者。

▽募集期間

昭和五十五年十一月一日

十一月三十一日

▽募集料および定員

普通訓練課程(二年コース)

- 機械科(機械専攻) 20人
- 板金科(仕上専攻) 20人
- 電気工金科 20人
- 自動車整備科 15人
- 能力再開発訓練課程(一年コース)

- 機械科(仕上専攻) 10人
- 配管科 30人
- 電気工金科 10人
- 自動車整備科 10人
- 塗装科 30人

応募手続きなど詳しいことは、秋田天王総合高等職業訓練校へお問い合わせください。

0188(73) 3 7

町内対抗駅伝

好選手そろえた町村優勝

全町町内対抗駅伝競技大会は、十一月二日午前九時から、雀館運動公園内に設けられたコースで行われ、町村チームが終始リードを保ち優勝した。

三回目を迎えた今年は、昨年より十一チーム多い二十三チームが参加し、時々あらがれがばつづく中を、二組に分かれてタイムを競った。

参加した。優勝した町村チームは好選手がそろっており、特に第二ランナーの宮崎選手と第三ランナーの伊藤選手で二位以下を大きく引きはなし、そのまま逃げこんだ。宮崎選手は、全選手最高の4分6秒、伊藤選手は4分19秒。町村チームは、最終ランナーの佐々木選手が三十代最高タイムをだす力走で、二位に引きこんだ。

1位	町村	24分04秒
2位	畑	24分36秒
3位	脇	24分47秒

森山登山競技

町内外から四百人が参加

秋田県森山登山競技会は、十一月三日、町内外の選手約四百人が参加して行われた。森山の頂上をめざして健脚を競うこの競技は、今回で二十四回を数え、文化の日恒例の行事である。

一般男子個人、団体、中学生男子団体は、広域体育館前から、中学生男子個人、中学生女子個人、団体はそれぞれのスタート地点から山頂をめざした。

町内の選手はよく健闘したが、一般男子個人で昭和町の草間選手が、中学男子団体で羽城中が優勝した。

成績は次のとおり。

17	16	15	14	12	12	11	10	9	8	7	6	5	
今新	黒	帝	下	田	平	八	上	湯	中	蓬	上	浅	
新	土	積	山	内	ノ	田	高	ノ	又	内	山	見	
町	町	寺	内	町	下	崎	崎	又	村	台	内	内	
27	27	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25	25	
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	
51	27	57	27	27	54	51	49	29	28	28	17	03	
秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	

23	22	21	20	19	18	
長	高	館	富	種	築	
町	千	町	田	口	地	
29	28	28	28	28	27	
分	分	分	分	分	分	
24	56	41	40	20	5	
秒	秒	秒	秒	秒	秒	

30	佐々木忠二(畑町)	4分12秒
40	歳以上	
三浦	金市(上高崎)	4分50秒



トツプで最終ランナーにたすきをわたす町村チーム

1位	草間 英男	25分44秒
2位	齊藤 政美	26分37秒
3位	竹内 芳則	26分39秒
4位	小柳 七郎	28分17秒
5位	下間 幸政	30分04秒
6位	武田 治	33分56秒

1位	羽城 中A	24分19秒
2位	五一中野球部A	25分25秒
3位	五一中野球部B	25分58秒
4位	五一中野球部B	26分04秒
5位	五一中野球部D	26分10秒
6位	五一中野球部D	26分16秒

1位	羽城 中A	24分19秒
2位	五一中野球部A	25分25秒
3位	五一中野球部B	25分58秒
4位	五一中野球部B	26分04秒
5位	五一中野球部D	26分10秒
6位	五一中野球部D	26分16秒

1位	羽城 中A	24分19秒
2位	五一中野球部A	25分25秒
3位	五一中野球部B	25分58秒
4位	五一中野球部B	26分04秒
5位	五一中野球部D	26分10秒
6位	五一中野球部D	26分16秒

1位	馬場目走友会A	25分0秒
2位	五城目青年会B	25分22秒
3位	五城目青年会B	27分01秒
4位	富津内青年会	27分22秒
5位	五城目町農協A	28分06秒
6位	B	29分12秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒

1位	一般男子個人	25分30秒
2位	一般男子個人	25分30秒
3位	一般男子個人	25分30秒
4位	一般男子個人	25分30秒
5位	一般男子個人	25分30秒
6位	一般男子個人	25分30秒



町教育委員会では「親子たこづくり講習会」を次の内容で行う。

日時 11月23日
午前9時30分～午後3時30分

会場 広域体育館

対象 家庭教育学級生の親と子25組

会費 1300円

参加申込み先 五城目町公民館

締切り 11月18日まで

申し込み順

親子たこづくり講習会

町教育委員会では「親子たこづくり講習会」を次の内容で行う。

日時 11月23日
午前9時30分～午後3時30分

会場 広域体育館

対象 家庭教育学級生の親と子25組

会費 1300円

参加申込み先 五城目町公民館

締切り 11月18日まで

申し込み順

申し込み順

申し込み順

申し込み順

申し込み順

年末の交通安全運動

12月1日～10日

十二月一日から十日までは、年末の交通安全運動期間です。年末は交通の混雑や積雪、凍結などによる交通事故がおりやすい時期です。お互いに注意しあって、交通事故にあわない、おこさないようにしてください。

関係機関では期間中

- ①歩行者、自転車利用者の事故防止
- ②安全運転の確保
- ③飲酒運転の徹底追放
- ④シートベルト着用利用の促進

を重点事項にかかげ運動を展開します。

特にドライバーのみなさんは次のことを守ってください。

・正しい運転マナーを守り、ゆずり合いの精神をもって運転する

・歩行者、自転車利用者および身体の不自由な人に対する「いたわり運転」を実践する

・雨り止め装置の装着、車間距離の保持など冬の安全運転を徹底する

・踏切では一時停止と安全確認を確実に行う

・積雪、凍結道路での二輪車利用を避ける

・酒を出す会合には車を運転してこない

12月

ごみ収集日

町内名	55年 12月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ヶ野	1	7	12	19	25	
希望ヶ丘	1	7	12	19	25	
田上町	1	7	12	19	25	
今蔵町	1	7	12	19	25	
御池町	1	7	12	19	25	
小川原	1	7	12	19	25	
新町	2	9	13	20	26	
一番町	2	9	13	20	26	
占川町	2	9	13	20	26	
紀久栄町	2	9	13	20	26	
中川原	2	9	13	20	26	
館城町	2	9	13	20	26	
岩地町	3	10	16	22	27	
畑町	3	10	16	22	27	
新崎	3	10	16	22	27	
矢場	3	10	16	22	27	
仲町	5	11	17	23	30	
長町	5	11	17	23	30	
米沢	5	11	17	23	30	
雀館	5	11	17	23	30	
昭辰町	5	11	17	23	30	
大川一	5	11	17	23	30	
二区	5	11	17	23	30	
三区	5	11	17	23	30	
四区	5	11	17	23	30	
馬場目	4	15	24			
富津内	4	15	24			
大川	4	15	24			
大川(本村以外)	9	19	29			
面馬	9	19	29			

●直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(☎ ② 3958)

< 直接搬入料 >

2トン未満 1回につき 6000円
2〜4トン未満 1回につき 9000円
4トン以上 1回につき 13500円
※収集日が多少変更になることと
※収集日程表を必ず見てください。



・十月十六日 三万円 一番町 加藤 仁郎
(亡母トヨ様の香典返しとして)
・十月十七日 二万円 長町 平川 正
(亡父小太郎様の香典返しとして)
・十月二十一日 七千五百円
浅見内連合子ども会
代表 工藤 智
(廃品収集の収益金を寄付したのも)
・十一月十日 四千四百五十円
今町 藤本 正善
常演寺藤本正善様より(十一月一日午後二時〜三時まで托鉢行による浄財を寄付したもの)
善意
・十月九日 カラーテレビ 一台
(五万円相当)
工藤 国雄(電気商会)
(情操豊かな児童の育成に役立ててくださいと馬場目児童館に寄贈)

誕生
おめでとう
ごさいます
築地町 伊藤 綾 9、29
岡本 近野ひろみ 9、29
小川口 清悦 須真子 9、30
下樋口 佐々木 大 10、1
大川四区 半田 健志 10、1
久保 一関 康 10、2
久保 俊一 順子 10、4
畑町 千田 竜太 10、7
久保 一関 大輔 10、7
米沢町 荒川 正崇 10、10
高崎 研悦 田鶴子 10、13

・日程
11月25日 五城目地区
11月26日 馬場目、富津内、内川、大川、面馬地区
・受付時間
午後1時〜2時
・場所
広域体育館予備室

困り事は人権相談所へ

十二月五日午前十時から午後三時まで、役場に人権相談所が開設されます。
これは、秋田人権擁護委員協議

16ミリ映写機
操作技術講習会

16ミリ映写機操作技術講習会が十一月二十三日午前九時から午後四時まで、八郎潟町公民館(役場)三階で行われます。これは16ミリ映写機の基本的な原理と技術を学習するもので、受講者は、県・南

中小企業経営相談

▽県内在住の中小企業経営委員
・藤井 馨
秋田いなふく米菓(株)会長
・川島 信一郎
県中小企業団体中央会副会長
・佐々木 治郎
元秋田活版印刷(株)社長

善意銀行

・十月十六日 三万円 一番町 加藤 仁郎
(亡母トヨ様の香典返しとして)
・十月十七日 二万円 長町 平川 正
(亡父小太郎様の香典返しとして)
・十月二十一日 七千五百円
浅見内連合子ども会
代表 工藤 智
(廃品収集の収益金を寄付したのも)
・十一月十日 四千四百五十円
今町 藤本 正善
常演寺藤本正善様より(十一月一日午後二時〜三時まで托鉢行による浄財を寄付したもの)
善意
・十月九日 カラーテレビ 一台
(五万円相当)
工藤 国雄(電気商会)
(情操豊かな児童の育成に役立ててくださいと馬場目児童館に寄贈)

老人ホームに寄せられた善意
・十月二十三日 五城目町議会議員慰問
五城目町議会議員・副議長・文教社会委員長・同副委員長・議会事務局長
・三十一日 21名
天王町児玉婦人会
・十一月二日 ハッピー(ワタイル) 15枚
田町 坂谷 裕子
・三日 カボチャ 30kg
サトウ 5kg
五城目町 匿名

【おしらせ】



三種混合予防接種は
11月25日・26日

ジフテリア、百日咳、破傷風三種混合予防接種の三回目を行いますので、対象になっているお子さんは必ず受けてください。

・対象者
▽昭和52年9月1日から53年8月31日までの間の出生者
▽昭和51年9月1日から52年8月31日までの出生者で、一回接種または未接種者
・注意事項
・問診用紙は必ず記載し、母子健康手帳といっしょに持参すること。
・当日、会場にくる前にお子さんの体温を測定し、健康状態を確かめておくこと。
・お子さんの健康状態に不安がある場合は、保健衛生課へ電話で問い合わせること

会と秋田地方事務局が行うもので相談は無料で秘密を守ります。土地家屋の権利問題、親子、夫婦、扶養、相続、登記、戸籍、供託、交通事故などの問題でお困りの方は、気軽に利用してください。
当日、相談に応じる町の人権擁護委員は次の人たちです。
佐藤勝太郎(仲町)
小林 米蔵(下山内)
小野 正直(大川)
川村 アヤ(川原町)
加藤 教蔵(野田)

年末調整説明会

秋田北税務署

秋田北税務署では、年末調整についての説明会を次の日程で行いますので、利用してください。
▽日時 11月25日 午後1時〜
▽場所 五城目町民センター